

登録コード	E2907400	開講年度	2026			
授業科目	英語学特殊演習				担当教員	酒井 英樹
英文授業名	Advanced Seminar in English Linguistics				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・6時限	対象学生
講義室	教育N 2 0 3 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観			第二言語習得及び応用言語学に関する諸概念や理論を理解し、教師として必要な教養を身に付けるようにする。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能			第二言語習得及び応用言語学に関する諸概念や理論を活用して授業を構築できるという英語の指導力を向上するようにする。		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本演習では、第二言語習得及び応用言語学に関する英語の文献を購読し、関連する諸概念や理論を解説する。担当教員が中学校教員の実務経験を活かして講義を行います。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：第二言語習得及び応用言語学の研究とは何か 第3回：第二言語習得及び応用言語学の研究テーマの設定 第4回：先行研究の探し方 第5回：研究課題とデータ 第6回：質的研究について 第7回：量的研究について（研究デザイン） 第8回：量的研究について（データ分析） 第9回：研究成果の公表方法 第10回：検索した論文の購読・発表（先行研究の概観に焦点をあてて） 第11回：検索した論文の購読・発表（方法に焦点をあてて） 第12回：検索した論文の購読・発表（結果に焦点をあてて） 第13回：検索した論文の購読・発表（考察に焦点をあてて） 第14回：引用文献の書き方・授業アンケート実施 定期試験 教育実習による欠席の補講については、授業記録の視聴及びレポートにより対応する。					
(6)成績評価の方法	・英語教育学の諸概念を理解しているかどうかを評価するために、最終試験（50%）と最終レポート（50%）によって評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	「卓越している」：第二言語習得及び応用言語学の理論や概念を適切に踏まえて、指導への応用方法を正確な英語で深く議論できる。 「かなり上である」：第二言語習得及び応用言語学の理論や概念を適切に踏まえて、指導への応用方法を適切な英語で深く議論できる。 「やや上にある」：第二言語習得及び応用言語学の理論や概念を踏まえて、指導への応用方法を適切な英語で議論できる。 「水準にある」：第二言語習得及び応用言語学の理論や概念を踏まえて、指導への応用方法を英語で議論できる。					
(8)事前事後学習の内容	・教科書を読み、議論の準備をしておくこと。 ・授業の議論について、整理をすること。 ・この授業は 90 時間の学修を必要とする内容です。従って、60 時間以上の時間外学習が必要となります。					
(9)履修上の注意	・本講義は、英語で行うこともある。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・随時、質問、相談に応じる。					
【教科書】	・浦野研他. (2016). 『はじめの英語教育研究』研究社. 2,640円					
【参考文献】	・随時授業中紹介する。					